

建設環境常任委員会

委員長 平野和生

建設環境常任委員会は、3月13日、委員会を開催し、付託された議案の審査を行った結果、全件とも可決すべきものと決定しました。

問 合併処理浄化槽の設置に要する個人負担額と、下水道集合処理の整備に伴う下水道等受益者分担金の個人負担額について、個人負担額の格差はどれくらいあるのか？

答 5人槽で26万7千円、7人槽は35万1千円、10人槽では54万8千円と試算した個人負担額格差になる。

問 ごみ収集処理委託の契約方法は、随意契約を行っているが、公募や入札はしないのか？

答 指名願いや、契約監理課と調整して検討していききたい。

問 観光一般経費の工事請負

費4,264万2千円の主な使途は？

答 片添ヶ浜温泉遊湯ランドの「ろ過装置」の更新工事に3,456万円を計上している。

問 有害鳥獣対策調査研究の成果と方向性は？

答 一番食べている物を減らせば、食物連鎖で減るのではないかとということで、まだ調査の段階にある。

問 みなとオアシスの区域設定と管理運営、管理主体はどうなるのか？

答 地域創生の観点からもNPO法人化等を検討し、将来的には民間主導による運営に任せたいと考えている。町が建てる施設もあることから、当面の施設の管理については、町が行なっていく。

【下水道事業特別会計】

問 久賀・大島の公共下水の、これからの供用開始の計画はどうなっているのか。また、

47年度までの整備計画の中で、部分供用開始はあるのか？

答 椋野長浦地区に終末処理場を建設しており、平成31年度までに整備が完了する予定で、平成32年度から一部供用開始を予定している。終末処理場に一番近い椋野地区、東三浦の一部及び久賀地区の宗光西側の一部までを予定している。

【水道事業企業会計】

問 本町は、山口県で一番高い水道料金と言われているが、柳井広域、県の補助、国の補助等々併せて、少しは還元される予定があるのか？

答 また、町民の負担が少なくなることは将来的にあるのか？

問 水道においては町民の約9割が利用しており、高料金対策等による国からの交付税措置を含めた一般会計からの繰入れを余儀なくされている状況ですが、広域連携等の検

建設環境常任委員会



討について国からの指導もあり、山口県においても県下全体での検討を始めている。特に柳井地域においては、柳井地域における広域連携というような観点からも現在検討している。